

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】令和 3 年 9 月 9 日 (2021.9.9)

【公開番号】特開 2019-75092 (P2019-75092A)

【公開日】令和 1 年 5 月 16 日 (2019.5.16)

【年通号数】公開・登録公報 2019-018

【出願番号】特願 2018-158853 (P2018-158853)

【国際特許分類】

G 0 6 F 16/00 (2019.01)

G 0 6 F 3/0482 (2013.01)

【F I】

G 0 6 F 17/30 3 8 0 D

G 0 6 F 17/30 1 4 0

G 0 6 F 3/0482

G 0 6 F 17/30 4 1 9 B

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 7 月 29 日 (2021.7.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

マイクロプログラミングプラットフォームのためのコンピュータプログラムであって、  
前記マイクロプログラミングプラットフォームは、ポストデータを記憶し、グラフィカルユーザインターフェイス (G U I) でのフィードの表示のためにポストを含む前記フィードを生成するよう構成され、前記フィードは、1 つ以上のポストを有するフィードアイテムの集合体であり、前記マイクロプログラミングプラットフォームの 1 つ以上のプロセッサによる命令の実行は、前記マイクロプログラミングプラットフォームに、  
マイクロプログラミングポストで公開されるコンテンツを受けることと、  
前記マイクロプログラミングポストの要求又は前記マイクロプログラミングポストを含むフィードに応答して、

データプロバイダを識別するデータプロバイダ識別子 (D P I D) 及び該 D P I D に関連した前記データプロバイダからデータを取得するためのデータプロバイダパラメータ (D P P) を示す動的コンテンツブレースホルダ (D C P) を前記コンテンツ内で特定することであり、前記 D C P は、動的コンテンツが前記ポストに入れられるためのブレースホルダであり、前記 D C P は、前記データプロバイダ及び前記 D P P のユーザ選択を含む前記ポストを構成したユーザによって定義される、前記特定することと、

前記 D C P によって示される前記 D P I D 及び前記 D P P を用いて、前記動的コンテンツについて、前記 D P I D に関連した前記データプロバイダにクエリを行うことと、

前記データプロバイダから前記データを入手することと、

前記コンテンツ内の前記 D C P の位置での前記マイクロプログラミングポスト内への前記データプロバイダから入手された前記データの挿入によって前記マイクロプログラミングポストを生成することと

を実行させるよう動作可能である、

コンピュータプログラム。

【請求項 2】

前記 D C P を特定するよう、前記命令の実行は、前記マイクロプログラミングプラットフォームに、

前記コンテンツを含むメッセージを受けることであり、該メッセージの本文部分において前記コンテンツが位置する、ことと、

前記メッセージの前記本文部分において前記コンテンツをパースすることと、

前記パースされたコンテンツから D C P フィールドを特定することと、

前記 D C P フィールド内の D P I D フィールドの D P I D 値を前記 D P I D として決定することと、

前記 D C P フィールド内の D P P フィールドの D P P 値を前記 D P P として決定することと

を実行させるよう動作可能である、

請求項 1 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 3】

前記命令の実行は、前記マイクロプログラミングプラットフォームに、前記 D C P 値、前記 D P I D 値、及び前記 D P P 値を D C P データベースオブジェクトの対応する記録に記憶させるよう動作可能である、

請求項 2 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 4】

前記データプロバイダにクエリを行うよう、前記命令の実行は、前記マイクロプログラミングプラットフォームに、

前記 D C P データベースオブジェクトから前記 D P P 値を取得することと、

前記 D P I D 値を用いて、アプリケーションプログラミングインターフェイス ( A P I ) への D P I D のマッピングに基づき前記データプロバイダの A P I を特定することと、

A P I パラメータとして前記 D P P 値を用いて前記データプロバイダの前記 A P I を呼び出すことと

を実行させるよう動作可能である、

請求項 3 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 5】

前記データプロバイダの前記 A P I は、R E S T A P I 、 S O A P A P I 、又は前記データプロバイダに関連したプロプライエタリ A P I である、

請求項 4 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 6】

前記データプロバイダは、前記マイクロプログラミングプラットフォームとは別であるプラットフォーム又はサービスプロバイダである、

請求項 1 乃至 5 のうちいずれか一項に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 7】

前記データプロバイダは、データベースオブジェクトであり、

前記データプロバイダにクエリを行うよう、前記命令の実行は、前記マイクロプログラミングプラットフォームに、

前記データベースオブジェクトのフィールド、レコード、又はデータベースエレメントである前記 D P P を示すクエリエレメントを含むデータベースクエリを生成することと、

前記データベースオブジェクトの記憶を制御するデータベースシステムへ前記データベースクエリを送ることと

を実行させるよう動作可能である、

請求項 6 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 8】

ユーザシステムによって実行される方法であって、

前記ユーザシステムによってマイクロプログラミングプラットフォームへ送られるフィードバックを含むウェブリソースの要求であり、前記ウェブリソースをリフレッシュ又はフェッチするためのグラフィカル制御要素 ( G C E ) の選択に応答する前記要求に応答して

、

前記ユーザシステムによって、前記マイクロプログラミングプラットフォームから、前記ウェブリソースを生成及びレンダリングするためのソースコードを受け取ることと、

前記ユーザシステムによって、前記マイクロプログラミングプラットフォームと相互に作用するためのマイクロプログラミングプラットフォームグラフィカルユーザインターフェイス（MPGUI）のインスタンスを生成しレンダリングすることと

を有し、

前記MPGUIは、前記フィードアイテムを有し、前記フィードアイテムは、データプロバイダによってサブされた動的コンテンツを有し、前記動的コンテンツは、前記フィードアイテムでの動的コンテンツプレースホルダ（DCP）の位置で前記フィードアイテム内に配置され、前記動的コンテンツは、前記DCPによって示されるデータプロバイダ識別子（DPID）及び前記DCPによって示されるデータプロバイダパラメータ（DPP）に基づき前記データプロバイダから入手され、前記DCPは、前記データプロバイダ及び前記DPPのユーザ選択を含むポストを構成したユーザによって定義され、前記MPGUIのインスタンスの生成及びレンダリング時に、更新された動的コンテンツが、前記フィードアイテムでの前記DCPの位置に入れられ、前記更新された動的コンテンツは、前記MPGUIの前にレンダリングされ表示されたインスタンスでの前記DCPの位置にある前記動的コンテンツと比較される、

方法。

【請求項 9】

前記GCEは第1GCEであり、前記MPGUIは、他のDPP及び他のDPIDを含む他のDCPを含むフィードアイテムデータを入力することを前記ユーザシステムのユーザに可能にするオーサリングツールを有し、該オーサリングツールは、前記マイクロプログラミングプラットフォームへの前記入力されたフィードアイテムデータの投稿を制御する第2GCEを有する、

請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

前記第2GCEの選択に応答して、

前記ユーザシステムによって、前記ウェブリソースの要求及び前記入力されたフィードアイテムデータを前記マイクロプログラミングプラットフォームへ送信することと、

前記ユーザシステムによって、前記入力されたフィードアイテムデータとともに前記フィードアイテム及び他のフィードアイテムを含む前記MPGUIの他のインスタンスを生成するためのソースコードを受信することと、

前記ユーザシステムによって、前記他のフィードアイテム内の前記他のDCPの代わりに、前記他のフィードアイテム内の位置に、前記他のDCIDに関連した他のデータプロバイダから入手された他の動的コンテンツとともに前記フィードアイテム及び前記他のフィードアイテムを含む前記MPGUIの他のインスタンスを生成しレンダリングすることであり、前記他の動的コンテンツは、前記他のDCPによって示される前記他のDPPを用いて新たに入手される、ことと

を更に有する請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

前記ユーザシステムによって、オートコンプリートアプリケーションを用いて、前記オーサリングツールのオーサリングパネルに入力されたDCPインジケータを検出することと、

前記ユーザシステムによって、前記DCPインジケータの検出に応答してDPIDの組を示すDCPリストGUIのインスタンスを生成しレンダリングすることと

を更に有する請求項 9 又は 10 に記載の方法。

【請求項 12】

前記ユーザシステムによって、前記オートコンプリートアプリケーションを用いて、前記DCPインジケータが前記オーサリングパネルに入力された後に該オーサリングパネル

に入力された文字を検出することと、

前記オーサリングパネルに入力された各検出された文字に応答して、

前記ユーザシステムによって、前記オートコンプリートアプリケーションを用いて、  
前記検出された文字の夫々に基づきD P I Dの新しい組を決定し、

前記ユーザシステムによって、前記D C PリストG U Iが、前記オーサリングパネル  
に入力された夫々の新しい文字に基づき新しい又は異なったD P I Dをボビュレートされ  
るように、前記D P I Dの新しい組を示す前記D C PリストG U Iの新しいインスタンス  
を生成しレンダリングすることと

を更に有する請求項 1 1 に記載の方法。

【請求項 1 3】

前記ユーザシステムによって、前記示されたD P I Dの組からのD P I Dの選択を検出  
することと、

前記ユーザシステムによって、前記選択されたD P I Dに関連したD P Pの組を示す前  
記D C PリストG U Iの他のインスタンスを生成しレンダリングすることと

を更に有する請求項 1 2 に記載の方法。

【請求項 1 4】

前記ユーザシステムによって、前記オートコンプリートアプリケーションを用いて、前  
記選択されたD P I Dの選択後に前記オーサリングパネルに入力された文字を検出するこ  
とと、

各検出された文字に

前記ユーザシステムによって、前記オートコンプリートアプリケーションを用いて、

前記検出された文字の夫々に基づきD P Pの新しい組を決定し、

前記ユーザシステムによって、前記D P Pの新しい組を示す前記D C PリストG U I  
の新しい他のインスタンスを生成しレンダリングすることと

を更に有する請求項 1 3 に記載の方法。

【請求項 1 5】

1 つ以上のマイクロプログラミングを含む個別的なマイクロプログラミングポスト又はフィード  
に対する各々のユーザからの個別的な要求を受け取るネットワークインターフェイスと、  
前記ネットワークインターフェイスと通信可能に結合されるプロセッサシステムと  
を有し、

前記プロセッサシステムは、受け取られた要求に応答して、

要求されているマイクロプログラミングポストのソースコード内で動的コンテンツプレ  
ースホルダ ( D C P ) を特定することであり、前記D C P は、動的コンテンツが入手される  
べきであるデータプロバイダのデータプロバイダ識別子 ( D P I D ) と、動的コンテンツ  
プレースホルダ ( D C P ) で前記マイクロプログラミングポストに含められるよう前記動的  
コンテンツを入手するためのデータプロバイダパラメータ ( D P P ) とを示し、前記D C P  
は、前記データプロバイダ及び前記D P P のユーザ選択を含む前記ポストを構成したユー  
ザによって定義される、ことと、

前記D C Pによって示される前記D P Pを用いて、前記動的コンテンツについて、前  
記D P I Dに関連したデータプロバイダにクエリを行うことと、

前記クエリに応答して前記データプロバイダから前記動的コンテンツを入手すること  
と、

前記要求されているマイクロプログラミングポストにおける前記D C Pの位置での前記入  
手された動的コンテンツの挿入によって前記マイクロプログラミングポストを生成することと

を実行するよう動作する、

マイクロプログラミングプラットフォーム。

【請求項 1 6】

前記D C Pを特定するよう、前記プロセッサシステムは、

前記要求されているマイクロプログラミングポストの本文部分から前記コンテンツを特定し

、

前記コンテンツをパースし、  
前記パースされたコンテンツから D C P フィールドを特定し、  
前記 D C P フィールド内の D P I D フィールドの D P I D 値を前記 D P I D として決定し、  
前記 D C P フィールド内の D P P フィールドの D P P 値を前記 D P P として決定する  
よう動作する、

請求項 1 5 に記載のマイクロプログラミングプラットフォーム。

【請求項 1 7】

前記プロセッサシステムは、D C P データベースオブジェクトの対応する記録における  
前記 D C P 値、前記 D P I D 値、及び前記 D P P 値の記憶を制御するよう動作する、  
請求項 1 6 に記載のマイクロプログラミングプラットフォーム。

【請求項 1 8】

前記データプロバイダにクエリを行うよう、前記プロセッサシステムは、  
前記 D C P データベースオブジェクトから前記 D P P 値を取得し、  
前記 D P I D 値を用いて、アプリケーションプログラミングインターフェイス ( A P I )  
への D P I D のマッピングに基づき前記データプロバイダの A P I を特定し、前記データ  
プロバイダの前記 A P I は、R E S T A P I 、 S O A P A P I 、又は前記データ  
プロバイダに関連したプロプライエタリ A P I であり、  
A P I パラメータとして前記 D P P 値を用いて前記データプロバイダの前記 A P I を呼  
び出す  
よう動作する、

請求項 1 7 に記載のマイクロプログラミングプラットフォーム。

【請求項 1 9】

前記データプロバイダは、当該マイクロプログラミングプラットフォームとは別であるブラ  
ットフォーム又はサービスプロバイダである、  
請求項 1 8 に記載のマイクロプログラミングプラットフォーム。

【請求項 2 0】

前記データプロバイダは、データベースオブジェクトであり、  
前記データプロバイダにクエリを行うよう、前記プロセッサシステムは、  
前記データベースオブジェクトのフィールド、レコード、又はデータベースエレメント  
である前記 D P P を示すクエリエレメントを含むデータベースクエリを生成し、  
前記データベースオブジェクトの記憶を制御するデータベースシステムへ前記データベ  
ースクエリを送る  
よう動作する、

請求項 1 5 乃至 1 9 のうちいずれか一項に記載のマイクロプログラミングプラットフォーム

。